

大学の世界展開力強化事業 H27取組概要 広島大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

国際大学間コンソーシアムINUを活用した、平和・環境分野における協働教育

【プログラムの目的・養成する人材像】

INU参加大学および広島大学が共有する目標である、地球市民としての自覚を有し、地球社会の一員として国や地域の持続的発展に資する人材を育成する。

【構想の概要】

国際的な大学間コンソーシアムであるINU(International Network of Universities)を利用して、双方向の協働教育の枠組み(ダブルディグリー・プログラム、修士サマースクール、学生セミナー)を、平和分野、環境分野および融合分野で実施する。これにより、大学の教育、研究、社会連携分野での国際力の強化、Internationalization at Homeを図る。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 大学間コンソーシアムINUを利用した大学間交流

欧州、米国、アジア、オセアニア、アフリカ、南米にまたがる国際的な大学間コンソーシアムであるINUの枠組みを利用して、本学の基本理念と密接な関連性を有する「平和」の分野、また、地球全体の問題と関連する「環境」分野と「看護」などの分野で、協働教育を行う。

○ 大学のトップ・マネージメントによる大学間交流

各種プログラム実施のため、各大学の学長・副学長のリーダーシップのもと、「総会(年2回)」を開催することにより、緊密なPDCA体制を確立している。また、学生セミナー10周年及び被爆70周年を記念して、平成27年8月5日に、広島市内においてINU加盟大学長等によるINU学長サミットを開催した。

〈INU 学生セミナー〉



〈INU 学長サミット〉



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈Study Abroad Program in Spain〉



○ 学生の語学能力、目的、履修期間などに応じた大学間交流

1年次に実施する短期の派遣プログラムをきっかけとして、学生の専門・属性に応じて開発された短期・長期の派遣・受入を伴う以下のような複数のプログラムを組み合わせる。

- ・長期に本学学生を海外派遣することにより国際的能力を取得した人材を育成
- ・海外大学学生の広島大学への留学による日本人学生との協働人材育成
- ・海外大学学生による本学教育・研究システムのInternationalization at Home

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

本構想および自己資金により学生支援を行い、日本人学生の派遣については、昨年よりは減少したものの、計画数の7倍弱の学生を海外に派遣した。

○ 外国人留学生の受入れ

毎年8月に開催する学生セミナー、修士サマースクールに学生を受け入れるとともに、長期留学生も計画通り受け入れ、計画人数を達成した。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	3人	143人	157人	223人	178人
(計画人数)	(2人)	(23人)	(27人)	(27人)	(27人)
学生の受入	0人	61人	71人	72人	68
(計画人数)	(0人)	(56人)	(66人)	(66人)	(66人)

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 留学支援体制の整備

留学支援のための相談窓口の開設、アドバイザーの配備などとともに、留学生が求める学習機会の整備(教材開発等)、また企業等における留学生のインターンシップ受入れの促進のための枠組みづくりを行った。

○ 学習支援体制の整備

長期間留学する学生については、双方の大学における学習過程や学習成果を双方の大学の指導教員により確認することのできるeポートフォリオも活用することにより、継続的に学習支援を行った。

■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開・成果の普及

○ ホームページの作成

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/sekaiinu/>

○ Internationalization at Home

プログラム実施を通じて「学生」、「教員」、「職員」、「マネージメント」が共に「国際化」を実現するため、学生を派遣した受け入れるとともに、留学を全く経験しない広島大学学生に対して新たな知見、経験を与えるInternationalization at Homeを進める。